



9月1日 防災の日

1人ひとりの「日ごろの備え」で

「正しく災害を恐れよう！」



防 災

9月1日は、防災の日です。1923年の関東大震災を教訓に制定されました。地震や台風、最近では、気候変動によるゲリラ豪雨など、私たちの暮らしを脅かす自然災害は後を絶ちません。私たちは、輸送サービスを担う労働者として「いのちを守る」ことを価値基軸に、防災・減災の取り組みを展開していきます。そのためには、私たち1人ひとりが「何が出来て、どう行動できるか」が重要になってきます。

南海トラフは、今後30年以内に巨大地震が発生する確率が「80%程度」とされています。「巨大地震の臨時情報」について、「巨大地震注意の際には、避難経路や非常持ち出し品の確認等をしつつ、日常生活を継続する」とされています。また、「鉄道の運行も原則運行規制はしない」と具体的な指針が示されました。

災害は「予測」「予防」「対応」と言われ、「日ごろの備えで減らす」ことが出来ます。そして、「正しく災害を恐れる」ことが重要です。